

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

1 項 総務管理費

総務課 (内線：0857-26-8160)

15 目 公文書館費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (財産収入)	一般財源	
親しまれる公文書館推進事業	4,617	2,625	1,992			1,000	3,617	
トータルコスト	19,530千円 (前年度16,327千円)							
従事する職員数	正職員：1.8人							
主な業務内容	企画展示、資料集の刊行、常設展示、講座開催、公文書の保存啓発及び利用促進							
説明	<p>1 事業の概要 公文書等の持つ情報に触れる機会を多くすることで、館の役割や所蔵資料に対する県民の理解を深め、公文書館の利用拡大を図る。</p> <p>2 主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中国・四国アーカイブズネットワーク連携事業(公文書館法施行日(6月1日)を中心に各館が実施) <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「アーカイブズの世界」(公文書館の業務、修復した図面、写真の展示、6月～7月頃) ・公文書館探検隊(館の機能説明や書庫の案内) ○アーカイブズフェア(秋に各種普及啓発事業を実施)(873千円) <ul style="list-style-type: none"> ・公文書館巡回講座(調査・研究成果等の講座、9月頃 4日間 開催地：鳥取市) ・企画展「レンズがとらえたあの頃の鳥取県」(古写真を中心とした展示(9月～10月頃)) ・巡回展(倉吉市内 10月～11月頃) ・公文書等資料保存研究会(市町村職員等を対象に公文書等保存の啓発)(117千円) ○常設展の強化「明治初期の政治家」(明治初期に県政に寄与した人物の紹介、7月～9月頃) ○こちら「夏休み自由研究」協力隊(小中学生を対象に公文書館資料を使った自由研究の指導 7月～8月頃 2日間) ○資料集『澤田廉三と美喜の時代』の刊行(2,100千円) 公文書館が4年をかけて調査・研究した澤田廉三に関する資料集。 新発見資料を軸に、澤田廉三の知られざる業績、妻美喜との往復書簡にみる昭和期の社会情勢、浦富の別荘での生活など余すところなく紹介する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※澤田廉三： 岩美町浦富出身で戦前から戦後にかけて日本の激動期に駐フランス特命全権大使等を歴任した外交官、初代国連大使となった。鳥取県を生涯愛し県政顧問として鳥取県の発展にも貢献</p> <p>妻 美喜： 神奈川県大磯町にエリザベスサンダースホームを設立し戦争孤児の救済養育に尽力したことで有名、度々来鳥し県民との交流も多い。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○その他事務費(1,644千円) 							